

教科(科目)	芸術Ⅰ（書道）	単位数	2単位	学年(コース)	2学年(普通科)
使用教科書	教育出版『書道Ⅰ』				
副教材等					

1 学習目標

古典の鑑賞と臨書をとおり、その特徴を理解し、技法を習得することにより、表現の幅を広げる。
また、古典の作品の良さや美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ① 古典を鑑賞し、臨書することにより、さまざまな表現の可能性を知る。
- ② 古典の用筆、運筆、結構を修得し、表現力を高める。
- ③ 学習した古典に基づく表現技法を習得するとともに、創作に生かし、それらが書の伝統に立脚していることを理解する。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	楷書	書写から書道へ 九成宮醜泉銘	・書写と書道の違いを知る。 ・基本的な書道用語を理解する。	4	関心を持てたか
5	楷書	孔子廟堂碑 雁塔聖教序	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	6	提出作品・授業の取組
6	楷書	顔氏家廟碑 牛厥造像記	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	8	提出作品・授業の取組
7	楷書	鄭義下碑	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	4	提出作品・授業の取組
8	楷書	鄭義下碑	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	4	提出作品・授業の取組
9	行書	蘭亭序 風信帖	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	8	提出作品・授業の取組
10	篆書 篆刻	泰山刻石 姓名印の刻	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得 ・造形と刻線の表現方法の工夫	6	提出作品・授業の取組
11	隸書	曹全碑	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得 ・文化祭作品における他者作品の鑑賞	6	提出作品・授業の取組
12	仮名	高野切第三種	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	6	提出作品・授業の取組
1	仮名	蓬萊切	・臨書、特徴の理解と表現技法の習得	4	提出作品・授業の取組
2	漢字仮名交じりの書	選択語句	・創作、表現方法の工夫	6	提出作品・授業の取組
3	漢字仮名交じりの書	選択語句	・創作、表現方法の工夫	2	提出作品・授業の取組

4 課題・提出物等

・各教材ごとに作品を提出する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
漢字、仮名や日常生活の書の効用や書の伝統文化について関心をもち主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、漢字、仮名の書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身につけて表している。	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統文化について幅広く理解し、その価値を考え書の良さや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、興味・関心) ・提出作品(臨書、創作、表現方法) などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

- ・書道の学習は、まずよく見ることが大切です。対象となる古典や作品は、深く鑑賞しましょう
- ・技法の習得は主として古典の臨書によるが、ただ枚数を重ねるのではなく、一字一字自分の解決すべき点を見極めながら練習しましょう。
- ・創作では、何を表現したいかを明確にしましょう。
- ・様々な古典や作品に触れることで、書の美しさを味わい、感性を高めてほしいです。また、現代における書の効果や役割を理解して、日本の文化を大切にしてほしいと思います。